

# ウオダス 漁海況速報 No. 2107



発行日 令和3年9月21日  
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所  
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156  
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
[https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/suisan\\_sougou/output/uodas/uodas.html](https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/suisan_sougou/output/uodas/uodas.html)

10月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	18	19	20	⑳	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○ 発行日

○「2021年7月までの陸奥湾トゲクリガニ。漁獲量145トン、漁獲金額は1億円を超え」

次回発行は10月1日(金) 予定です。

**小泊** (9月11~15日)

スルメイカ	釣り	57隻	13,715.0kg
クロマグロ	釣り	30隻	1,821.1kg
ウスマバル	釣り	19隻	570.9kg

(9月16~20日)

スルメイカ	釣り	41隻	8,990.0kg
クロマグロ	釣り	31隻	1,958.2kg
ウスマバル	釣り	11隻	395.1kg

**下前** (9月1~21日)  
(取りまとめ中)

**髭ヶ沢** (9月1~5日)

スルメイカ	底曳網	4隻	2,025.0kg
マダイ	底曳網	4隻	156.1kg
(156.9kg)	刺網	2隻	0.8kg
マダラ	底曳網	2隻	9.8kg

(9月6~10日)

スルメイカ	底曳網	4隻	2,900.0kg
ヤリイカ	底曳網	1隻	21.6kg
マダイ	底曳網	4隻	57.0kg
(58.6kg)	刺網	1隻	1.6kg
クロマグロ	釣り	2隻	27.0kg
マダラ	底曳網	2隻	7.0kg
アブラツノザメ	底曳網	1隻	2.5kg

(9月11~15日)

スルメイカ	底曳網	2隻	735.0kg
マダイ	底曳網	1隻	5.6kg

**大戸瀬** (新深浦) (9月11~15日)

マダイ	釣り	4隻	10.1kg
(26.9kg)	刺網	4隻	16.8kg
クロマグロ	釣り	4隻	571.4kg
(670.4kg)	延縄	2隻	99.0kg
ブリ	釣り	1隻	4.7kg
(7.2kg)	定置網	3隻	2.5kg

(9月16~20日)

マダイ	釣り	1隻	0.8kg
(55.6kg)	定置網	9隻	50.8kg
クロマグロ	延縄	2隻	486.6kg
(532.9kg)	定置網	1隻	46.3kg
ブリ	釣り	1隻	1.5kg
(221.5kg)	定置網	8隻	220.0kg
サケ	定置網	1隻	3.2kg

**深浦** (9月6~10日)

スルメイカ	底曳網	8隻	10,996.0kg
ヤリイカ	底曳網	1隻	2.0kg
マダイ	釣り	2隻	14.0kg
(321.6kg)	定置網	9隻	206.9kg
クロマグロ	底曳網	8隻	100.7kg
(675.2kg)	釣り	8隻	615.7kg
ブリ	定置網	2隻	59.5kg
(676.7kg)	釣り	1隻	1.9kg
ウスマバル	定置網	8隻	674.8kg
(54.2kg)	釣り	5隻	53.9kg
マダラ	底曳網	1隻	0.3kg
サバ類	底曳網	5隻	37.5kg
	定置網	1隻	0.5kg

(9月11~15日)

スルメイカ	釣り	1隻	640.0kg
(1,730.0kg)	底曳網	2隻	1,090.0kg
ヤリイカ	底曳網	1隻	1.1kg
マダイ	定置網	4隻	195.1kg
(201.6kg)	底曳網	2隻	6.5kg
クロマグロ	釣り	16隻	838.8kg
ブリ	定置網	3隻	1,628.0kg
マダラ	底曳網	2隻	106.4kg

**三厩** (9月11~15日)

マダイ	釣り	2隻	8.4kg
クロマグロ	釣り	40隻	1,700.0kg
ブリ	釣り	1隻	15.8kg
ウスマバル	釣り	1隻	6.0kg

**平舘** (外ヶ浜) (9月1~5日)

マダイ	その他	7隻	492.2kg
ブリ	その他	6隻	460.8kg
ウスマバル	その他	3隻	6.4kg
サバ類	その他	1隻	1.6kg

(9月6~10日)

ヤリイカ	その他	1隻	1.3kg
マダイ	その他	4隻	175.8kg
ブリ	その他	1隻	15.6kg
ウスマバル	その他	1隻	2.5kg

**佐井** (8月1日~9月15日)  
(取りまとめ中)

**大畑** (9月6~10日)

スルメイカ	釣り	67隻	1,957.5kg
マダイ	釣り	14隻	17.1kg
(17.4kg)	籠	1隻	0.3kg
クロマグロ	延縄	11隻	1,081.6kg
ブリ	釣り	4隻	30.5kg

(9月11~15日)

スルメイカ	釣り	44隻	2,363.4kg
マダイ	釣り	2隻	1,004.2kg
(1,004.6kg)	籠	1隻	0.4kg
クロマグロ	延縄	1隻	1.2kg

(9月16~20日)

スルメイカ	釣り	12隻	95.0kg
マダイ	釣り	1隻	1.4kg
クロマグロ	延縄	2隻	240.0kg

**尻労** (9月11~15日)

クロマグロ	定置網	1隻	6.0kg
-------	-----	----	-------

(9月16~20日)

マダイ	定置網	2隻	97.0kg
クロマグロ	定置網	1隻	27.0kg

**白糠** (9月11~15日)

スルメイカ	釣り	20隻	980.0kg
マダイ	釣り	9隻	2.7kg
ブリ	釣り	29隻	81.2kg
ウスマバル	釣り	24隻	6.2kg
マダラ	釣り	29隻	167.7kg

(9月16~20日)

スルメイカ	釣り	44隻	4,215.0kg
ブリ	釣り	27隻	20.3kg
マダラ	釣り	27隻	533.2kg

**三沢** (9月1~5日)

スルメイカ	釣り	177隻	12,290.0kg
マダイ	定置網	1隻	44.0kg
ウスマバル	釣り	4隻	270.0kg
サバ類	定置網	1隻	2,228.7kg

(9月6~10日)

スルメイカ	釣り	113隻	8,365.0kg
ウスマバル	釣り	1隻	75.0kg

(9月11~15日)

スルメイカ	釣り	69隻	2,675.0kg
ウスマバル	釣り	5隻	445.0kg

**三沢** (9月16~20日)

スルメイカ	釣り	51隻	5,445.0kg
マダイ	刺網	1隻	2.6kg

**八戸** (9月1~5日)

スルメイカ	釣り	116隻	26,925.0kg
(381,276.0kg)	底曳網	34隻	348,483.0kg
クロマグロ	まき網	1隻	5,868.0kg
ブリ	定置網	2隻	62.0kg
サバ類	定置網	4隻	10,627.0kg
(152,277.0kg)	定置網	4隻	16,139.0kg
サケ	まき網	9隻	136,138.0kg
	定置網	3隻	40.0kg

(9月6~10日)

スルメイカ	釣り	104隻	13,100.0kg
(167,143.0kg)	底曳網	22隻	154,043.0kg
クロマグロ	定置網	5隻	33.0kg
ブリ	定置網	5隻	6,035.0kg
(14,581.0kg)	まき網	3隻	8,546.0kg
マダラ	底曳網	23隻	4,081.0kg
マイワシ	まき網	0隻	3,548.0kg
サバ類	定置網	5隻	14,835.0kg
サケ	定置網	10隻	193.0kg

(9月11~15日)

スルメイカ	釣り	51隻	4,040.0kg
(229,019.0kg)	底曳網	55隻	224,979.0kg
クロマグロ	定置網	3隻	9.0kg
ブリ	定置網	8隻	15,858.0kg
(19,116.0kg)	まき網	3隻	3,258.0kg
マダラ	底曳網	58隻	5,970.0kg
サバ類	定置網	8隻	6,790.0kg
(7,100.0kg)	まき網	0隻	310.0kg
サケ	定置網	16隻	731.0kg

(9月16~20日)

スルメイカ	釣り	23隻	6,200.0kg
ブリ	定置網	3隻	2,496.0kg
マダラ	底曳網	1隻	861.0kg
サバ類	定置網	3隻	1,231.0kg
(6,843.0kg)	まき網	1隻	5,612.0kg
サケ	定置網	6隻	56.0kg

## 沿岸各地の水温 (9月11日～15日)

日本海 23℃台 津軽海峡 22℃～ 23℃台  
陸奥湾 22℃台 太平洋 20℃～ 21℃台

9月第3半旬は平均前回差が-0.1度となりました。

前年と比べると、日本海が-1.0度、津軽海峡が-0.7度、陸奥湾が-1.4度、太平洋が-0.6度で、平均前年差は-0.9度となっています。

平年と比べると、全海域で「平年並み」となっています。

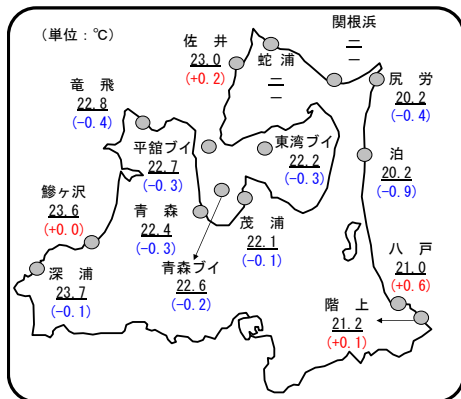


図 定地水温 (9月11日～15日)  
 平均值 (平年差) ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (9月11～15日)

(単位: °C)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	23.7	-0.6	-0.3	-0.1
	鱒ヶ沢	23.6	+0.0	-1.8	+0.0
	平均	23.6	-0.3	-1.0	-0.0
津軽海峡	竜飛	22.8	-0.2	-0.4	-0.4
	佐井	23.0	+0.2	-1.0	+0.2
	蛇浦	-	-	-	-
	関根浜	-	-	-	-
	平均	22.9	-0.0	-0.7	-0.1
陸奥湾	青森	22.4	-0.5	-1.8	-0.3
	茂浦	22.1	-0.1	-0.8	-0.1
	平館ブイ	22.7	+0.1	-1.5	-0.3
	青森ブイ	22.6	-0.1	-1.3	-0.2
	東湾ブイ	22.2	-0.2	-1.5	-0.3
平均	22.4	-0.2	-1.4	-0.2	
太平洋	尻労	20.2	-0.5	-1.0	-0.4
	泊	20.2	-0.4	-1.9	-0.9
	八戸	21.0	+0.4	+0.4	+0.6
	階上	21.2	+0.5	+0.1	+0.1
平均	20.7	+0.0	-0.6	-0.1	
全体平均	22.4	-0.1	-0.9	-0.1	

## 沿岸各地の水温 (9月16日～20日)

日本海 23℃台 津軽海峡 22℃～ 23℃台  
陸奥湾 21℃～ 22℃台 太平洋 19℃～ 20℃台

9月第4半旬は平均前回差が-0.4度となりました。

前年と比べると、日本海が-1.2度、津軽海峡が-1.1度、陸奥湾が-1.4度、太平洋が-0.7度で、平均前年差は-1.1度となっています。

平年と比べると、全海域で「平年並み」となっています。

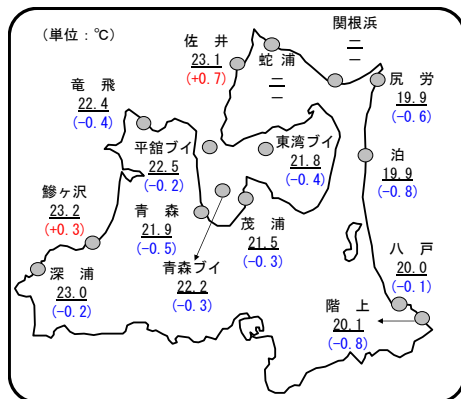


図 定地水温 (9月16日～20日)  
 平均值 (平年差) ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (9月16～20日)

(単位: °C)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	23.0	-0.7	-0.4	-0.2
	鱒ヶ沢	23.2	-0.4	-2.0	+0.3
	平均	23.1	-0.5	-1.2	+0.1
津軽海峡	竜飛	22.4	-0.4	-1.8	-0.4
	佐井	23.1	+0.2	-0.4	+0.7
	蛇浦	-	-	-	-
	関根浜	-	-	-	-
	平均	22.8	-0.1	-1.1	+0.2
陸奥湾	青森	21.9	-0.5	-1.7	-0.5
	茂浦	21.5	-0.6	-1.5	-0.3
	平館ブイ	22.5	-0.2	-2.0	-0.2
	青森ブイ	22.2	-0.4	-1.0	-0.3
	東湾ブイ	21.8	-0.4	-1.0	-0.4
平均	22.0	-0.4	-1.4	-0.3	
太平洋	尻労	19.9	-0.3	-1.0	-0.6
	泊	19.9	-0.3	-1.2	-0.8
	八戸	20.0	-1.0	-0.4	-0.1
	階上	20.1	-1.1	-0.5	-0.8
平均	20.0	-0.7	-0.7	-0.6	
全体平均	22.0	-0.4	-1.1	-0.2	

## 太平洋の海況

(9月16日～17日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は20℃～21℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに降温しました。これは前年同期と比べて1度ほど低い水温です。

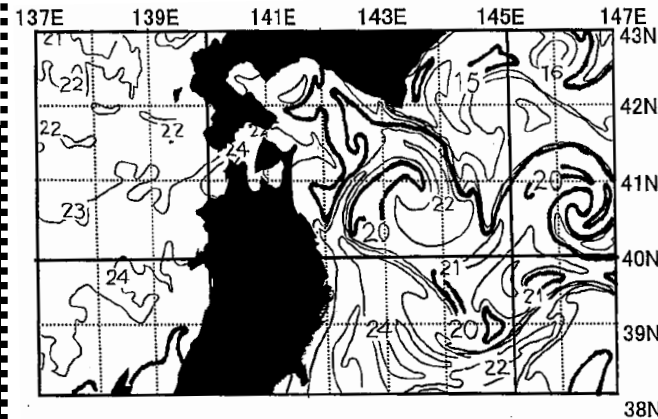
## 日本海の海況

(9月16日～17日、表面水温分布)

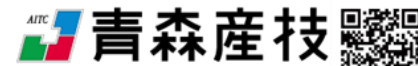
概況: 沿岸水温は23℃～24℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに降温しました。これは前年同期と比べて2度ほど低い水温です。



資料: (一社) 漁業情報サービスセンター  
 北部太平洋海況速報 (A) 第50号 9月21日発行



<https://www.aomori-itc.or.jp/>

あおもりの未来、技術でサポート

# ○「2021年7月までの陸奥湾トゲクリガニ。漁獲量145トン、漁獲金額は1億円を超え」

今春の陸奥湾のトゲクリガニ漁が終了し、漁獲状況がまとまりました。2021年1～7月までの漁獲量は145トン、漁獲金額は1億303万円で、前年2020年の116トン、6,100万円を大きく超え、いずれも2007年以降最高となりました（図1）。陸奥湾で2020年に漁獲金額が1億円を超えた魚種は、ホタテガイ（91億5,202万円、マナマコ（17億1,943万円）、マダラ（1億6,294万円）、ヒラメ（1億4,102万円）で、今年トゲクリガニがそれに次ぐ魚種になりました。

漁獲金額が伸びた要因は、漁獲量が増えたことに加えて、平均単価が2020年の527円/kgから2021年に710円/kgと高くなったことです。野辺地町漁協ではメスよりもオスの平均単価が高くなっていました。関係者によると、北海道のケガニの代替品として需要が高まり、海外へ輸出されたことも要因としてあったようです。

2021年の市町村別漁獲量は、約半数が野辺地町で漁獲され、次いで、平内町、むつ市、横浜町でいずれも陸奥湾東湾で多く漁獲されていました（図2）。

近年の陸奥湾のトゲクリガニ漁獲量の急増要因は、①2015年、2016年の稚ガニの大量加入、②2018年冬季の好適餌料環境による生き残りや成長の促進、③オスの大型化による漁獲量増加、が考えられています（詳細は「水と漁」第37号）。

陸奥湾では2000年1月から、オス7cm未満、メス6cm未満と水ガニ（脱皮直後の個体）の再放流などの資源管理を行っています（図3）。増大した資源を持続的に利用するため、資源管理の取組を継続することが重要です。一方、トゲクリガニは地まきホタテガイを捕食することから、食害を減らす方法として、稚貝の放流時期を秋から春に変更することや、地まき漁場でトゲクリガニを漁獲するなどの管理が必要です。

（野呂恭成）

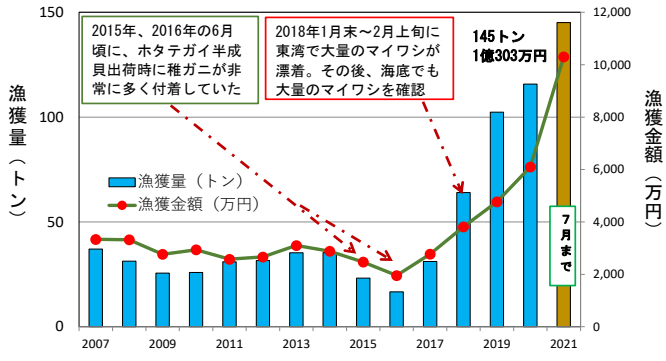


図1 陸奥湾主要漁協におけるトゲクリガニ漁獲量の推移

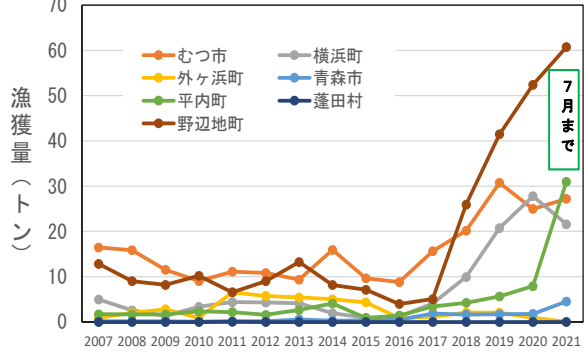


図2 陸奥湾の市町村別トゲクリガニ漁獲量の推移



図3 トゲクリガニ資源管理のポスター